

令和2年度 **学** 探究科

教科	学 探究	科目	(学) 探究ナビ I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

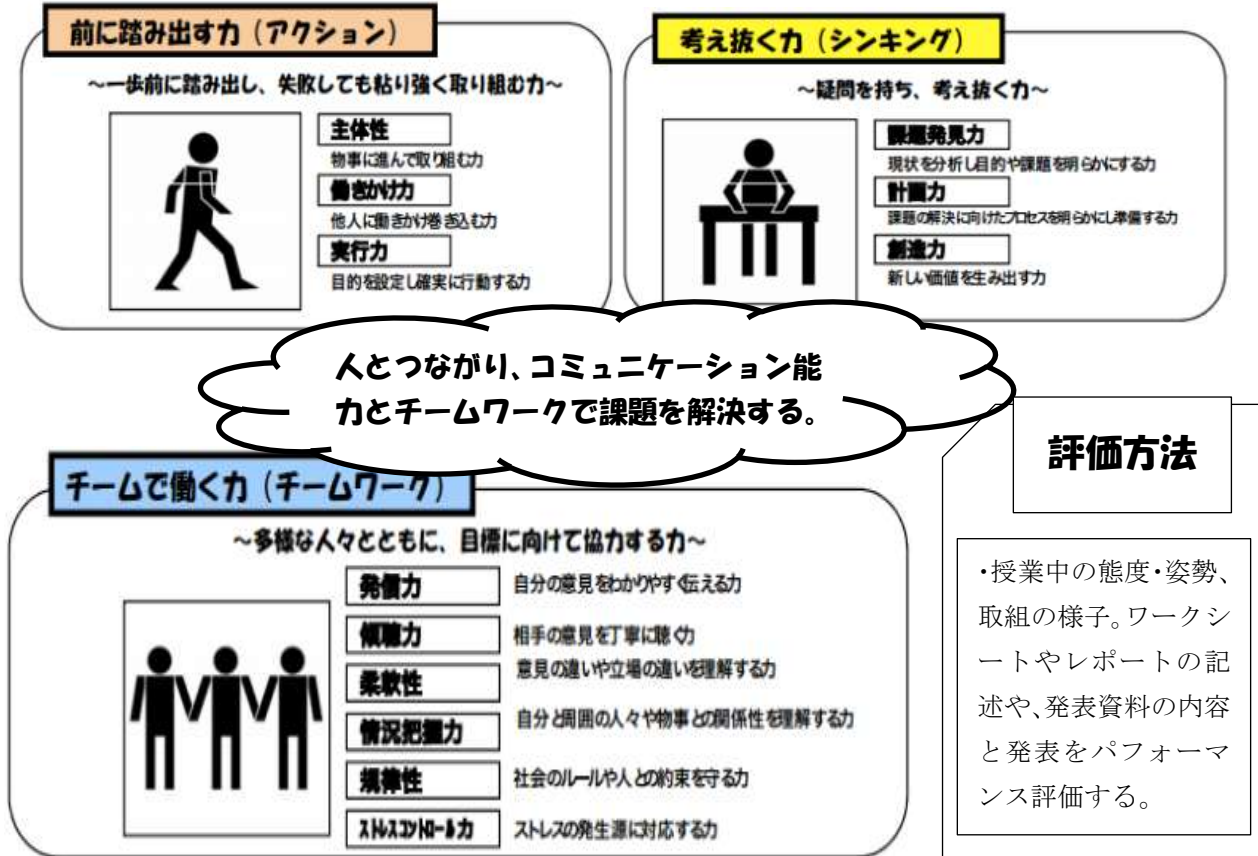
自らの進路を切り拓くことができる人材の育成

「生きる力の基礎（社会人基礎力）となるコミュニケーション能力を育成する。」
 アイスブレイクによって人とつながる力、また、コミュニケーション能力の基礎となる「話す」力や「聴く」力を身につけ、それらを基盤としながら課題を「見つけ」「調べ」「まとめ」「伝える」力を育てます。そしてお互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」することに挑戦します。

2 学習の到達目標

- 【発見】人とつながることで自他の多様性と可能性に気づき、多様性が生み出す新たな価値と、可能性がもたらす新たな成長に気づく。
- 【探究】コミュニケーション能力とチームワークを発揮することで、課題解決に必要なプロセスや方法を探究する。
- 【感動】自己の主体性を活かしながらチームで取り組むことで課題解決ができることを体験し、驚きや喜び等の感動を得る。
- 【自信】課題解決の達成によって確かな自信を得て、社会の中で他者と協働しながら自己の可能性を実現していく力にする。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）



★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した B…概ね達成した C…課題を残した D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点			単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				ア	シ	チ		
1学期	アイスブレイク	アイスブレイクを学ぶ		○			ア：自ら人と関わり、コミュニケーションを取ることができる。 シ：人間関係における適切な言動の在り方について考えられる。 チ：メンバーの一員としてグループをチームにすることに貢献できる。	ワークシート・活動評価等
		名前と言葉の大切さ		○	○			
		集団づくり			○	○		
	コミュニケーション	伝えることと受け止めること		○			ア：さまざまなコミュニケーションスキルを身に付け、実践できる。 シ：より良い人間関係の構築に必要なことを考え、言動に反映できる。 チ：自己の意見を発信しつつ他者の意見を受容し、協働できる。	
		肯定的な受容と応答		○				
		他者との協働			○	○		
	防災	災害と生活			○		シ：災害に対する知識を持ち、防災の計画を立てることができる。 チ：災害をシミュレーションし、チームで課題を乗り越えられる。	
		防災シミュレーション				○		
	自己調整と協働	ポートフォリオとメタ認知			○		ア：グループでのフィールドワークに積極的に取り組むことができる。 シ：自らの学びを振り返り、生活に応用することができる。 チ：グループで役割分担をして情報収集し、チームでまとめられる。	
		夏休みの宿題		○		○		
夏季休業期間								
※キャンパスメンバーズを利用した課題に取り組む								
2学期	仕事調べ	夏休みの宿題プレゼン		○		○	ア：プレゼンテーションの準備や発表に主体的に取り組むことができる。 シ：収集した情報を整理し、ポイントをまとめてプレゼン資料を考案できる。 チ：チームワークを発揮してより効果的なプレゼンテーションを実践できる。	ワークシート・プレゼン発表等
		働く意義について			○			
		適性検査と仕事調べ			○			
		職業カルタ			○	○		
		就職説明会の準備			○			
		1つの職業を深く調べる			○			
		発表の準備とリハーサル			○	○		
		就職説明会		○		○		
	演劇①	演劇について			○		ア：劇作りに積極的に取り組むことができる。 シ：演劇的な表現について理解し、劇作りに取り入れることができる。	ワークシート・演劇発表等
		演劇ワークショップ		○				
3学期	演劇②	劇団旗揚げと役割分担		○		○	ア：劇団を旗揚げし、メンバーの一員として役割を果たすことができる。 シ：シナリオや表現方法を考え、より良いものへとブラッシュアップしていくことができる。 チ：劇団内のメンバーの意見に加え、専門家や教員、他の生徒によるフィードバックを踏まえて、チームで演劇を完成できる。	ワークシート・演劇発表等
		台本作りに取り組む			○	○		
		PDC A サイクルの活用			○			
		相互評価の活用			○	○		
		発表準備				○		
		クラス発表		○	○	○		
	全体発表		○	○	○			
反省と総括	反省と総括			○		シ：演劇での学びと、探究ナビⅠ全体の学びを振り返り、社会や人生に応用することができる。	ワークシート	

※探究ナビの評価は、提出物内容と授業の様子のバランスを考え、双方での評価をします。